

あす 未来への学び

～分かる授業・楽しい授業を目指して～

No.1 2022.6.10 (金)

「チームで最高タイムを樹立するための練習を工夫しよう！」

～ 単元:陸上 短距離走・リレー ～

現在、「短距離走・リレー」を実施しています。中学1年生および2年生は、「自己の最大のスピードを高めて走ることができる」、3年生は、「スピードを高めたバトンパスができる」ことを目的として実施しています。生徒は、リレーをととても楽しみにしていて、意欲的に学習に取り組んでいます。チームの合計タイムが縮まると、素直に喜び、次また頑張ろうと積極的に学習に取り組んでいます。2・3年生は昨年度も行っていて、リレーの特性や楽しさを味わっていますが、1年生はまだ十分ではないので、教師が指導を入れて取り組んでいます。振り返りは、学習カードに書き出していますが、「キーワード」を提示して生徒が書くようにしています。そして、学んだことを自分の言葉で表現することを大切にしていますが、書くことにやや苦手意識があるようです。

教師側としては、「スピードを落とさずにバトンをつなぐ」「自己の最大のスピードで走る」ことを意識して取り組ませました。一人一人の走りがチームのタイムを縮めることにつながるということ、そして、バトンパスのスピードを落とさずに渡すのは、どうしたら達成できるかを「ヒント」として黒板に掲示したり、できているグループの受け渡しを実際に見たりして引き出すように意識しました。しかし、頭では分かっているにもかかわらず実際にやってみるとできないことが分かりました。

そこで、ICTを活用し、受け渡しの場面を録画し、チームで見合い、できているところやできていないところなどを再確認しました。再確認したところでもう一度走ってみると、できばえがお互いに理解できて良かったのですが、残念ながら時間が足りませんでした。残り2時間の学習時間で、振り返って、さらに再確認の意味で走るとかなり学びの姿が見えてくると思います。

リレーは体育大会などでも、盛り上がる場面があり楽しく活動でき、目標を持ちやすい単元です。競争だけでなく、仲間とともによりよいリレー学習ができるよう、そして、目標達成をめざして、生徒たちと考えながら今後も授業をしていきたいと思っています。

